

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

NEWSaka

2018.1
No.27

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝

謹賀新年



塩釜神社境内庭園

- 1 写真（塩釜神社境内庭園）
- 2 年頭のごあいさつ（院長、看護部長）
- 3 2017年度第2回防火避難訓練
- 4 「医療安全週間11/22～11/30」
- 5 職場紹介（在宅医療室）、食養室管理栄養士から（20回目）
- 6 「いちょうの会」創立40周年
シリーズ19回目リハビリ室のお仕事
- 7 1月外来診療案内
- 8 インフォメーションほか

病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、
共感・協同・平等・安全の
医療をめざします。



理想の病院に 一歩でも近づけるように

坂総合病院院長 内藤 孝



新年おめでとうございます。
昨年末テレビドラマ「陸王」
が放映されていましたが御覧に
なられたでしょうか。めずらし
く欠かさず観ていたのですが、
地方の小さな足袋屋「こはぜ屋」

が画期的なランニングシューズの開発に挑む物語
です。これでもかという程次から次へと困難が降
りかかる中、経営とかライバル社の妨害に押しつ
ぶされそうになりながら奮闘する役所広司演じる
社長の姿が印象的でした。「こはぜ屋」が直面し
た程の重大な局面はそうそうありませんが、それ
でも病院内でも日々様々なことが起こります。困
難な時こそ理念や初心が大切であると教えられた
ように感じています。

少子高齢化、人口減少、国の財政危機、働き方
の問題、間近に迫った診療報酬改定など医療を取り
巻く環境はめまぐるしく変化しています。そんな
中ですが職員一人一人が活き活きと働くことで
患者さんにも満足が届けられると考えています。

職員が意気高く取り組んだ結果、去年は入退院
数、救急車受け入れも増やすことができ、地域の
急性期病院としての役割を一定果たせたのではな
いかと思っています。まだまだ不十分でお叱りを受
ける点多々あるでしょうが、理想の病院に一歩
でも近づけるように進んでいきたいと思いま
す。本年もよろしくお願い致します。



新年のごあいさつ

切れ目のない看護構築を目標に

看護部長 高橋美智子



明けましておめでとうございます。

昨年も、地域の方々、そして
開業医の先生方をはじめ連携施
設の皆様には多大なるご支援ご
協力をいただき、感謝申し上げ

ます。

地域では、少子・超高齢化の加速の中で、高齢
者の一人暮らしや夫婦二人暮らしが増えると予測
されています。何らかの疾患を抱えていながらも、
生活を維持できることへの支援が求められていま
す。

坂病院看護部では、地域医療支援病院として「老
年看護と救急看護をベースとした、外来～入院～
地域（外来）への切れ目のない看護を構築する」
ことを目標とし、超高齢化社会を向えるにあたり、
住み慣れた自宅へとつなげる看護をどう展開
していくかという視点に立って救急看護チームの
育成、老年看護の研修、患者宅訪問、診療所、ケ
アステーション研修等、育成を重視して取り組ん
でいます。

去年は、地域医療連携センターに入退院支援課
を設置しました。入院時から退院後も患者さまご
家族の方々が地域で不安なく早期に戻られるよう
支援を強化することで、より地域医療へ貢献がで
きるのではないかと考えています。

今後、高齢化が進み医療と介護の需要が高まる
中でも、地域で安心して住み続けられる町づくり
に貢献できるよう努力してまいります。

本年も宜しくお願い申し上げます。

日常的に防火・ 防災意識持ちながら業務を！



病棟指揮者が行動指示

12月7日(木)の午後、30名以上の職員が参加し、今年度第2回目の病院・クリニック合同の「防火・避難訓練」が実施されました。

目的・想定は

日勤帯に3階病棟病室から出火



消火器で初期消火

「防火・防災マニュアル」に基づいて、通報・初期消火・避難誘導を行ない「総合訓練」の基本的理解を深め、個々の行動について認識する機会とすることを目的に実施されました。

今回は、3階病棟の病室から日勤帯に出火したことを想定しての対応訓練でした。

訓練スタート

13時30分に訓練参加者はクリニック8階会議室に集合し訓練内容を確認してから、それぞれ担当配置につき14時に訓練スタート。

3階病棟の煙感知器が作動し、防災室より『3階で火災のベルが鳴りました。確認のため次の放送をお待ちください。』の放送が。

3階病棟では、勤務中の看護スタッフが、まず火元を確認し、職場指揮者が指示し、消火器での初期消火、火事ぶれ、救助に駆けつけた職員により、模擬患者(職員)を担送・護送(車椅子)し3階ベランダに誘導し避難しました。



車椅子でベランダに避難



防火シャッターも閉まる

逃げ遅れた人がいないか出火区画の病室・トイレを確認し、排煙窓のスイッチを入れ、病室・トイレに「避難済」のマグネットを貼り付けました。

同時に、防災室では緊急通報装置で消防署への通報訓練が行なわれました。

「消火器操作体験」

次に、3階ベランダで「消火器操作の説明や模擬消火」が行なわれました。

(株)ニッタンの方から消火器の操作方法について説明していただいてから、実際に消火器を持って模擬消火の体験をしました。



消火器操作模擬体験

消火器操作方法の説明

参加者の感想から

- 車椅子の方の目線で避難することが経験でき、実際の場合には混乱が想定されると思い、誘導する順番などを声かけしてもらったら安心できると思いました。(リハビリ室)
- 消火器使用時、有効な避難路を確保してから噴射することを学びました。(生理検査室)
- 職場の消火器の位置などを再確認しようと思いました。避難の流れがわかったので、自分の勤務時に発生した時、自分の病棟内での動きも確認しようと思います。(4階病棟)
- 消火器を持ってかけつけ支援を行ないましたが、すでに避難していたため、何もしないうちに終わってしまいました。次回からはすぐにつけかけます。(ICU)
- 初参加で護送の患者役でした。一番早くベランダに避難となったため、訓練全体を見ることはできませんでしたが、看護師の方が声がけも忘れずに行っていた事がとても頼もしく患者さんの安心感につながると感じました。冷静に行動し、不安感を与えないような声がけも大切だと感じました。(組織課)



安全推進 3つの言葉



安全川柳80句



医療安全週間のティッシュを配布

「医療安全週間」に参加して 患者さんと医療者で 共に守る医療安全

医療安全管理者・看護師 千葉 佳子

「医療安全週間 (11月22日～30日)」に参加して今年で4年目になります。

今回も「患者さんと医療者で共に守る医療安全」というテーマで医療安全週間に参加しました。

患者さんへの掲示として「患者家族の20ヶ条」。これは、患者さんやご家族は医療チームの一員であり、医療現場には様々なリスクがあり、そのリスクをできるだけ防ぐための安全対策に、患者さんにご家族も一緒に参加していきましょうというメッセージを紹介しました。

また、AED (自動体外式除細動器) で守れる命という事で、患者さん向けにAEDの使い方を本院1Fとクリニック1号館で実演しました。患者さんからは「実際に使い方をみる事ができてよかった」「これから雪が降って寒いけどパッドは直接つけるの?」「クリニック1号館のAEDはどこにあるの?」など質問もあり積極的に参加して頂けました。

確認・コミュニケーション・ 指さし呼称・笑顔・思いやり

その他として、23職場から医療安全推進のために大切にしている3つの言葉 (3ワード) とその職場の医療スタッフの写真を掲示。今年の3ワード「ベスト5」は、確認・コミュニケーション・指さし呼称・笑顔・思いやりという言葉が、数多くの職場から選ばれました。

ご存じの通り、医療事故は知識・技術のテクニカル

スキルより、ノンテクニカルスキルである確認不足・コミュニケーションの問題で起こっています。そのような共通認識から選ばれた言葉だと思います。

安全川柳80句には、患者さん・医療者へのメッセージや安全のためにとるべき安全行動などが詠まれ、「あ!それぞれ」と同じ気持ちを追体験できる内容が多くみられました。

また、職員向けの研修としては、コミュニケーションについて近畿大学の松尾理名誉教授をお迎えして講演会を開催、53名の参加者がありました。松尾先生からは、医療安全のためには、個々人が柔軟に自律的に行動できる



AED実演

チームを形成し安全文化を育てること、そのためにもコミュニケーションを大事にすることというメッセージを頂きました。

今後も患者さんやご家族と共に医療の安全について考え積極的に参加していただき、安心・安全な医療を推進していければと思っています。



在宅医療室スタッフのみなさん

在宅医療室には、専任医師1名、看護師6名、看護クラーク1名、運転手1名（北部診療所・坂デイケア送迎兼務）の9名が在籍しています。

院内外から紹介を受け、通院困難な患者様、人工呼吸療法や在宅酸素療法などを行なっている患者様、さらに、がんなど終末期を自宅で過ごしたい患者様へ定期的に訪問診療を行なっています。訪問看護ステーションやケアマネージャーなどの介護サービスと協力

し、地域（塩釜市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町一部、宮城野区一部）をまわっています。また、夜間など時間外でも相談ができるよう拘束体制をとっています。

今回は看護業務の一部を紹介します。訪問看護で対応困難な場合の相談や患者様から直接電話相談を受け、必要時は臨時往診で検査や点滴治療などを行なっています。その他、必要な医療材料の提供（胃ろう・尿カテーテル・点滴に必要なものなど）をして自宅で快適に暮らせるよう管理しています。適切な服薬管理ができるよう、調剤薬局との連携も欠かせません。また、介護サービスとの連携のため、サービス担当者会議や退院調整会議にも積極的に参加しています。時には患者様の外出を支えるため、同行（授業参観・水族館など）することもあります。生活を支える、『生きる』を支えるため、日々意志とともに活動しています。

在宅療養・訪問診療について話を聞いてみたいと思ったら、医療・介護の相談役として、いつでもお声がけください。

坂総合病院食養室 管理栄養士から

管理栄養士 鈴木 亜紀

第二十回

～ 年末年始の食生活 ～



年末年始は、クリスマス、忘年会、お正月、新年会など、様々な行事が続く時期です。この時期は「食」の誘惑が増し、カロリーの高い食事や飲酒、運動不足が続くため食生活が乱れがちになります。ちょっとした工夫で乗り越え、年末年始を楽しみましょう！

“バランス”を意識！

炭水化物や肉類が多くなりがちですが、食物繊維が不足しないよう、野菜、きのこ類、海藻等を意識してたくさん食べましょう。

※ちなみに…

市販のおもち2個（約100g）がごはん150gと同じカロリーに相当します。



“食べ過ぎ”に注意！

特別な日の食事は、どこで、何を、どのくらい食べたかが分かるように記録してみてください。記録といっても、何を何g食べたという食事記録ではありません。写真やメモとして記録を残しておき、“食べ過ぎ”を常に意識しましょう。

“ながら食べ”をしない！

テレビを見ながら、あるいは雑誌を読みながら等の「ながら食べ」は、気づかぬ間にカロリーオーバーになりがちです。必ず食卓で食べるようにしましょう。また、食事の時間を決めて、規則正しい食生活を心掛けましょう。

冬の果物
みかん

ふつう、みかんといえぼんしゅうみかんをさします。

みかんは栄養価が高く、豊富に含まれているビタミンCは、みかん2個で大人1日分のビタミンC量を満たすと言われるほどです。ビタミンCの他にもビタミンAを多く含み、風邪の予防に良いと言われています。

高い健康効果があり、味覚も楽しめるみかん。しかし、肌が黄色味を帯びてくるほど食べると糖分の摂り過ぎが懸念されます。体を冷やす作用もあるので、食べ過ぎには十分に注意しましょう。



「いちょうの会」 創立40周年

外科外来看護師 富山 光江

皆さん「いちょうの会」をご存知ですか。

胃がんで胃を切除した患者さんが主体となり活動している患者会で、今年度創立40周年を迎えた歴史ある会です。2017年11月12日(日)ブライダルわかば塩釜で40周年記念懇親会があり、病院からは伊在井淳子医師、成重勇太医師、朝倉直美師長、事務の庄司清子さん、上田克幸さんと私が参加しました。また会員さん達15名と講師が2名、来賓として乳がん患者会「ひまわり会」の会長渡辺美重子さんの参加もあり総勢24名が集いました。

今年の学習講話は地域でも活躍されている講師をお呼びして「ロコモ体操」を一緒にやり、貯金ならぬ貯筋が大事の話に一同納得、音楽に合わせて皆で楽しく汗をかきました。交流会では一人一人が自己紹介をかねて、胃がんと分かった時の心境や今はこんな症状で困っている、などのお話に皆さん頷きながら聞き入っているのが印象でした。カラオケが始まれば、皆さん次々に自慢の歌を披露され、曲に合



いちょうの会懇親会

わせて即興で踊る方もいて、普段は患者と病院職員としてお互いよそゆきの顔になりがちですが、立場は関係なく大いに盛り上がりました。一時は100名を越した会員数も今は43名。同じ体験をした同志が励ましあい、悩みや不安を気軽に相談できる患者会は患者さんにとって心強い存在であり、坂病院にとっても誇れる財産です。会員数を増やすことと、更に活発にしていく為に職員の熱意と支援が大事です。



就労支援チームスタッフ

こんにちは。就労支援チームです。

就労支援チームでは、自宅退院後に復職や再就職したい患者様へのサポートを行なっております。チーム結成のきっかけは、当院回復期病棟への若い脳卒中患者様の入院が増えてきているということでした。現在、医師1名、理学療法士2名、作業療法士5名、言語聴覚士2名で2017年4月より本格的に活動しています。今のところ、元々就労されていた当院回復期病棟の入院患者様及び外来患者様で、歩行は自立しているが高次脳機能障害(注意・記憶)が残存している方を対象としています。活動頻度は月二回で、対象者の情報共有

や学習会などを行なっています。

今年度の実績ですが、4月から11月末までに復職や新規就労まで繋がった方は、5名でした。様々な制度や職形態があり、また会社とのマッチングもあるので、なかなかスムーズにいかず難しさを感じます。しかし、まだまだ始まったばかりの若いチームですので、まずは実績作りということで活動しています。徐々に対象者を広げていければとも思っておりますので、何かありましたら当院リハビリ室にご一報ください。どうぞよろしくお願いたします。

シリーズ
さまざまなりハビリテーション

第19回

就労支援チームのご紹介

理学療法士 佐藤 勇輔

外 来 診 療 案 内

2018年1月

坂総合病院（本院）

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科	午前	○			○	○		
	午後					○		
神経内科	午後	○						
消化器科	午前	○	○	○	○	○		
	午後		○			○		
緩和ケア科	午前				○			
	午後	○						
リハビリテーション科	午前		○	○	○	○		
	午後	○						
末梢血管外来	午前	○	○					
甲状腺外来	午後		○診療日隔週					

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承ください。

総合病院 院長 内藤 孝 電話 022-365-5175(代)

坂総合クリニック1号館

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
外科	午前	○	○	○	○	○		
腎臓内科	午前			○				
整形外科	午前	○	○	○				
	午後	○		○				
泌尿器科	午前	○	○		○	○	○診療日隔週	
形成外科	午前	○		○				○診療日隔週
	午後		○			○		
耳鼻咽喉科	午後	受付13:00～16:00		受付13:00～16:00			受付8:30～11:30	
産婦人科	午前	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診～11:30迄 ○11:30迄	妊婦健診 ○11:30迄	妊婦健診 ○	妊婦健診～11:30迄 ○	○	
	午後	○ 妊婦健診				妊婦健診		
眼科	午前	○	○	○	○	○	○診療日隔週	
	午後		○	○				
皮膚科※	午前		○			○	○診療日隔週	
	午後		○14:30～16:00			○14:30～16:00		
血液科	午後		○			○		
禁煙外来	午後			○診療日隔週				
＜各科外来受付時間＞								
●午前 新患8:30～11:30 再来8:30～11:30			●午後 予約制となっています					
※皮膚科の診療は医師体制上の都合により、予約外の方は緊急性のある方以外はお受けできません。ご了承下さい。								

坂総合クリニック2号館

※内科一般外来は午前からのみの診療となります（午後は休診となります）。

各科外来診療日・時間

科	診療	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後							
糖尿病代謝科	午前	○	○	○		○	○診療日隔週	
	午後	○	○		夜間外来（隔週）			
循環器科	午前	○	○	○	○		○月1回	
	午後		○			ペースメーカー外来 診療日隔週		
呼吸器科	午前	○		○		○	○月1回	
	午後	○		○		○		
緩和ケア科	午前		○		○			
漢方科	午前	○	△	△		○	○月2回	
	午後	○	△	△	△夜間外来	○		
高脂血症外来	午前			○				
心臓血管外科	午後			○		○		
小児科	午前	○	○	○	○	○	○	
	午後	予防接種 受付13:30～14:30		育児検診				

●当院の外来は全面予約制ですので、来院前にお電話下さい。漢方は診療変更が多い日を△にしています。

電話番号：予約コールセンター 022-361-8288

電話予約受付時間：平日8:30（小児科のみ8:00から開始）～16:30、土曜日8:30（小児科のみ8:00から開始）～11:30

●医師体制の都合により変更する場合があります。ご了承願います。

坂総合クリニック 所長 高橋 洋 電話 022-361-7011(代)

「坂総合病院市民公開講座」のお知らせ

大腸がんのはなし

2018 2/10^{sat} 10:00~11:30

松島町文化観光交流館
「アトレ・るHall」2階和室

講師

- ① 盛口 佳宏 医師(外科医長)
- ② 内視鏡センター看護師予定

どなたでも参加できます。事前申込不要で参加費無料です。



迎春

地域医療連携センターから
新年明けましておめでとうございます。
昨年中はたいへんお世話になりました。
引き続き登録医の先生方はじめ多くの皆様との
連携強化に努めて参ります。
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成30年 元旦

地域医療連携センター
スタッフ一同



地域医療連携センターから

○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
8月	768	830
9月	692	938
10月	743	970
11月	699	1006

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療
ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

《開設時間》

●平日 / 8時30分～17時 ●土曜日 / 8時30分～12時30分

TEL 022-361-4700

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日(月～金) : 8時30分～16時30分
(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院
代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合
JR仙石線・下馬駅下車(駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力をお願いいたします。

編集後記

あけましておめでとうございます。新たな年が始まりました。昨年いろいろな出来事がありましたが、家族みんなが健康で迎えられたことに感謝しなければなりません。家のすぐ近くには塩竈神社があり、お正月は初詣でたいへん混雑します。毎年家族で塩竈神社にお参りし、おみくじを引くのが恒例となっていますが、残念ながらここ何年か大吉を引いていません。さて、坂病院NEWSは、2月より新しい誌面となります。地域や病院内の情報をよりわかりやすく充実した内容でみなさまにお届けできるように検討中です。進化した坂病院の広報誌をお楽しみに。(Y.I)

公益財団法人 宮城厚生協会

坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩竈市錦町16-5
電話 022-365-5175 (代表)
FAX 022-365-3620
<http://www.m-kousei.com/saka/>

